

繪本
敵討

岩見英雄錄

壹

遠13
2509
35-1

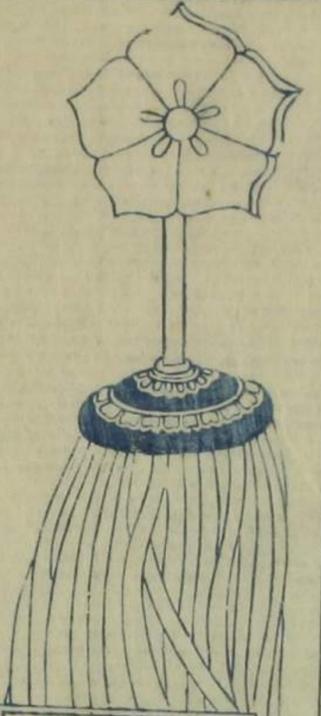


遠
2509
卷 1-35

南海 水原玉藻畫圖

漢仇英雄錄

全部
七冊



浪花
書林

文榮堂



漢仇英雄錄序

新ニ以キの興起也。而以庸陋ニ寸圮ス

市ト以テ風弄ラ月ヲ遊ス古人詩史之

分ニ其テ錦ヲ多ク而シ構ヲ為シ游シ戲シ之ヲ文

墨ヲ以テ傳ヘ事ヲ小説ト河ヲ曾テ矣ナ乎カ然レ以テ



漢仇英雄錄序

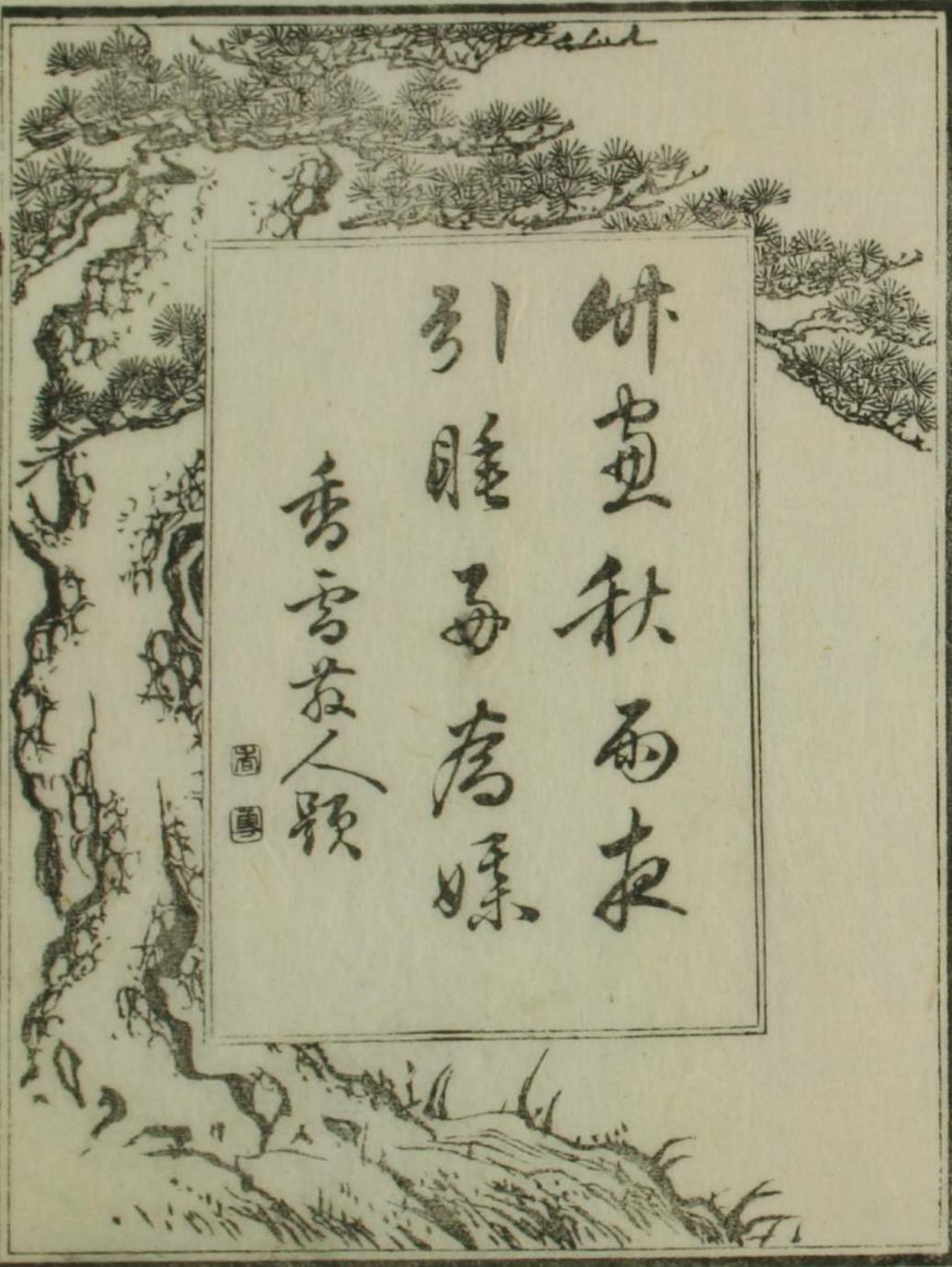
算係世之風教。或有遷讓
焉。近古爭戰。西漢一戎。并有
完。見長者。仗劍跋涉。千里能渡。
其父繼焉。而後來竟以切名顯于世云。
書肆種。玉也。主人近口錄。其子蹟。

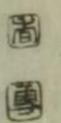
間。臨京。入速水。嘉曉。訪函。之貴。國。
將上梓。而激。余。序。焉。余。與。主人。
有。舊。祖。不。以。辭。也。且。余。嗜。詩。
雖。不。追。飾。之。而。以。構。之。習。然。屬。酒。
之。寸。管。以。辭。隻。句。之。奇。以。可。傳。世。

也。而遠讓此一小説之稱。存身之勉
勵士風者。蓋深有慙之矣。因書
此意。以自警。俾償其託云。
弘化戊申初春

南海小芙蓉居士





竹畫秋雨夜
引睡為癖
香雪主人題


岩見十左衛門

無重像



身殞三克手
名稱四傑魁

香雪散人

岩見重太郎

包益像



虎子生来氣食牛武妹
夙秀風毛相驍名他日切多
少不獨苗年漫又雙

香雪散人歌 周園



成瀬大學助

光純

寛政九年

出象二



龍心一様石揚頑尾
 奮風傷生伏草冒三
 人渾欠男兒志好強
 難辭一字如

香雪教人教

大川八左衛門

國忠

廣瀬軍右衛門

持世

徳川幕府

出象一

復仇英雄録前編惣目録

卷之一

發端 岩見重右衛門生立話

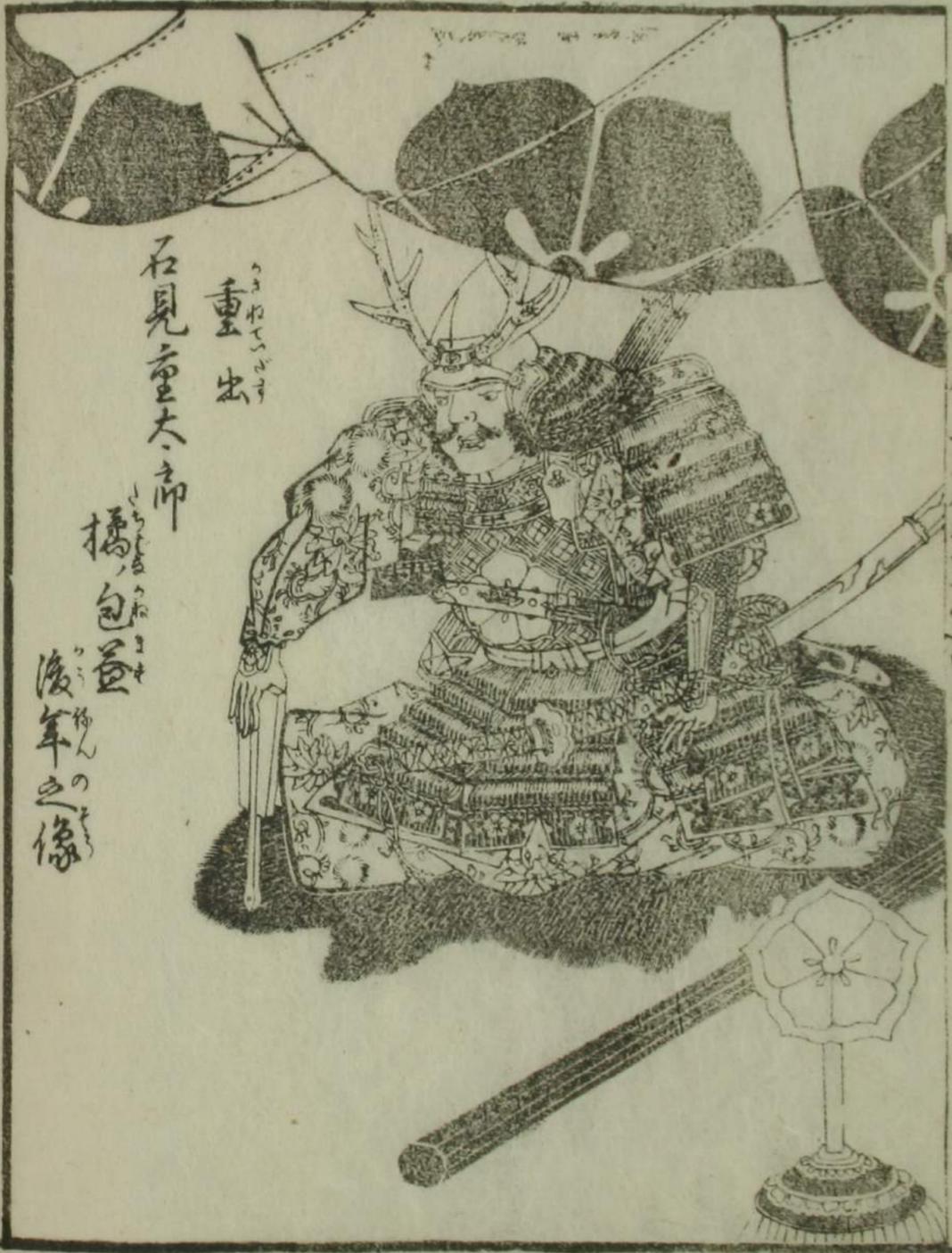
名鳴城下繁昌の圖

鈴木後平重右衛門

英重右衛門大杉山邊英人話

鈴木後平重右衛門と秋の圖

其二



重出

石見重右衛門

橋包登

後年之像

復仇英雄録前編卷之二

重右衛門 武術 於 異人

并 六猿 与 岩見 競術 活

重右衛門 異人 子 連 小 島

卷之二

重右衛門 錫術 立 會

并 鈴木 岩見 競術 活

重右衛門 立 會 乃 圖

岩見 重右衛門 陶 宅

并 松方 古始 試合 活

重右衛門 陶 宅 此 易

岩見 兄弟 試合 の 圖

二十八人 碑 狂 闘 争

并 重右衛門 打 懲 三十八 士 活

岩見 包 蓋 壯 士 等 小 島 圖

重右衛門 三十八人 打 懲 此 易

卷之三

完戸侯閑諱穿紙

并二十八人不真返放話

壯士為會議の圖

重右衛門子孫を賜ふ事

吳又而勘當せし事

奸佞毒計勸酒石見并大窪堤母傷話

若殿系吳又而小あし圖

大窪堤母傷の圖

卷之四

岩見重太郎知行加増

并重右衛門武者修行話

岩見包差出せる圖

於君前岩見兼重与三士競武術話

完戸侯雪見真宴

并三人共修周殺岩見話

完戸侯雪見の圖

廣瀬成瀬大川等雪夜に出奔の圖
三人のぬれ洗岩見兼重と害する圖

卷之五

數浪悲傷病死

并 重藏兄妹復讐言出立話

重藏父の核死を母に告る圖

岩見重藏兄妹尋仇話

重藏兄妹國を去る圖

嗣子為賊被勾引

并 重藏慶元賊話

嗣子賊に勾引する圖

重藏兼足元賊成慶子とる場

岩見兼足兄妹板橋繩子

父の讐言成瀬廣瀬大川不違小圖

惣目錄終

教員言

此書前編の画并平安の故速水喜咲齋之
 乃遺圖とそりれと集めたり少多臨写し
 以て之外此録情とわくその巻首に書れお乃
 岩見式父子并廣成成於大川並の浦係及
 岩見式並と火を打櫃の第二圖と巻末の二帳と
 水原玉藻子の補ひ換て之後篇とわくてもと
 それとと頃とよよとわくは波筒端の好白と録也

繪本攘仇英雄録前編卷之一

目録

發端 岩見重吉而生立話

名所の城下繁昌の圖

繪本復平叙重吉

孫重太郎大坂山邊見人話

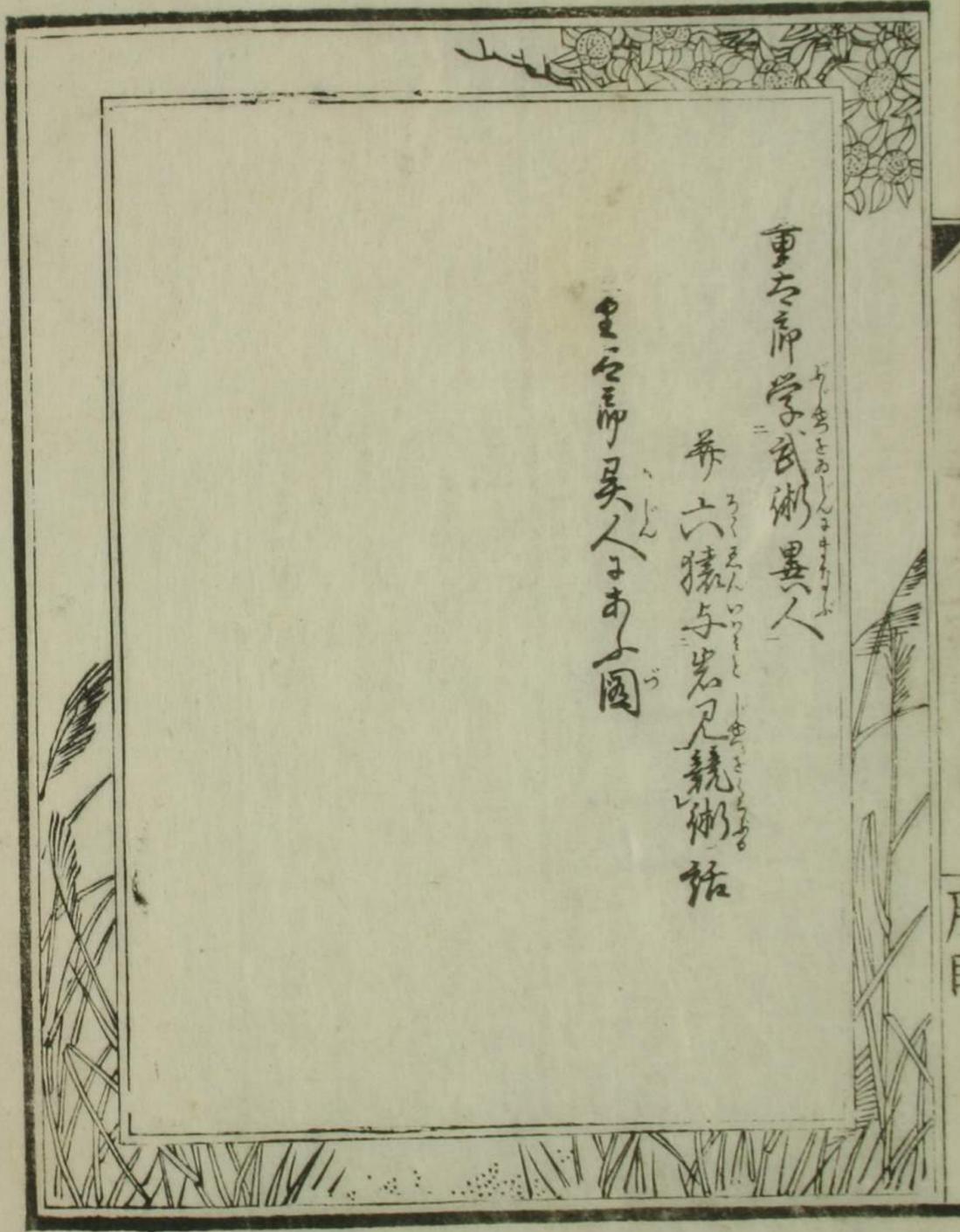
日圖

其二

重吉師学武術異人

并六猿与岩見競術話

重吉師吳人子也



繪本復仇英雄録前編卷之一

發端

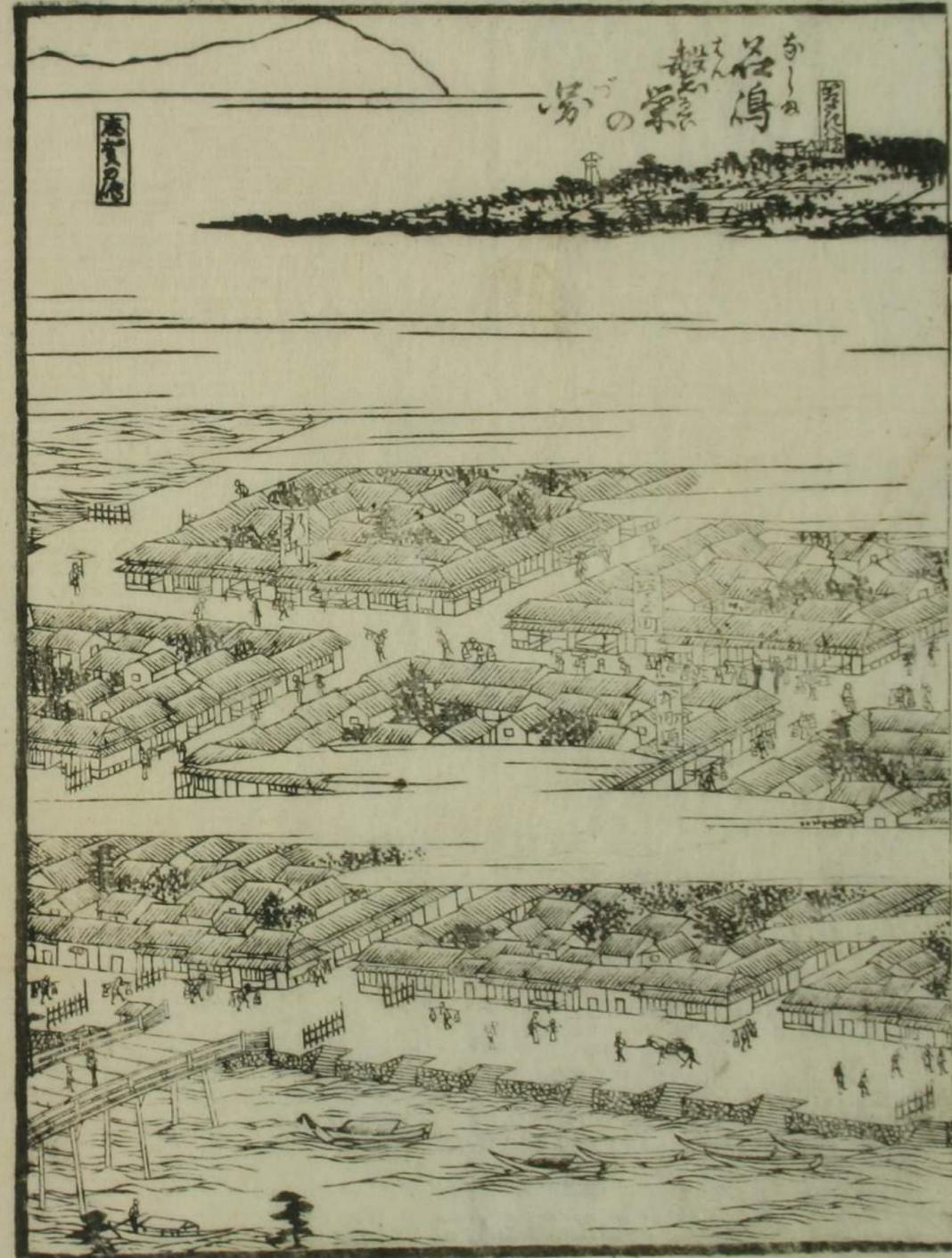
岩見重太郎生立話

四海困窮其天祿長くおのりんと云々... 足利尊氏謀て小朝氏擁立始て己が志成運征夷府の軍機を辱かす... 皇都に西朝府と用き又子兄弟相及り世家の上將多しにその八世將軍... 矣臣孫義政云ふ至て文弱尤も一々奢倭文祖過き強弓山名細川の... 兩雄控勢とありしに皇孫小應仁文昭の礼を讓り天下悉く戰國と成り... 東國日今川武田里見小條小園上杉長尾畠山南海河野三好西海三... 龍造寺千代大友中堅の大内尼子など英雄豪傑の奥七盡表百餘... 事の同野戦更不休時なり足利家の覇業日々衰へて威も下り... 祖先歴世不臣の天誅とありと雖も豈見孫孫奢淫逸の慢也と承や





長門守の御舟



名鳥の御舟

中国の文治元元統と号す。天姓の名好しく智仁勇の
 三徳斌兼伎。終不三千マの小文より配里く隣玉乃
 猪侯斌征伏し以勇小領玉の救とす。南金美と云
 陽長豊能斌征厄子晴久斌代平く強伯斌も孝極
 中国十四王のちちとあり。足利將軍斌技く中国の探魁と
 あり。威以日城は唯うこれり。此文治元元統の幕下筑前玉名津郡
 名津の城主完戸安菟守兼隆と云下。智深原不武武男
 又中国で在不出る者もあき名將るれ々多依元後も外あり
 と云く用ひらきとる。完戸安菟守と云元統の仁武不懐
 敏と号す。敏して二や忠勤斌励せられらる。美不や名將の下に
 弱率たせらる。此完戸家の藩中六武をその士あくる。

其中にと岩見十左衛門兼直廣瀬軍右衛門持世成瀬大學之助
 光純大川轉左の國忠など々。叙法繪術兼術藝術其外り
 馬兵字にのちと達と云く。世不完戸の四天王と稱はる
 後の人傑や。此岩見十左衛門二置女子あり。妻同系并於本渡平
 が娘に名斌岩浪と。又二三人の嫡子斌重藏兼定と稱。天文十二年
 甲辰の出生也。正親町院永禄二年に々十六才に男斌重皇太弟也益
 と稱。天文十七年辰申誕生。今永禄二年に々十二才妹つご子と
 して天文廿年辛亥の生まふ。高村九才七有る男女子とも
 皆其性温順柔和に相願す。穉や。女儀不備る中に
 も。決り方十を尋りて。誕生の初より。上下の齒生天帝親の眼光有て
 啼多扱て。大い願す。善通小兒といふ。夫も。所傳も又大驚り。

ろうが二文の比より此の重さより一倍多 物成候と持参り
 又此後強く見重藏が素續たる如の小字太字孝經をん
 又受てより重さ早に成補しれども又十五馬の母成浪も早に
 一親も早に成補しれども又十五馬の母成浪も早に
 引延べしと傳中より其内未成女は生息も又早に
 になしり重さ早に成補しれども又十五馬の母成浪も早に
 ちる。重さ早に成補しれども又十五馬の母成浪も早に
 楽しし思ひ奉定りて雀燕の成射落し申度不及。又石成候
 しく六次成候。是又後半成候が成射落し申度不及。又石成候
 候。思ひ奉定りて雀燕の成射落し申度不及。又石成候
 頼母し思ひ奉定りて雀燕の成射落し申度不及。又石成候

はくし時疫成りしに及んれと父母終り大なる事
 遠近の良医成りしに及んれと父母終り大なる事
 八歳より新様成りし夫婦、我子の成候しりるに其
 成候と神を納更に候しりるに其成候と神を納更に候しりるに其
 父母の悦び大方なり。八歳より新様成りし夫婦、我子の成候しりるに其
 及び神馬一領を奉納しりるに其成候と神を納更に候しりるに其
 引之討症の病とありし外、出て持参り成候と神を納更に候しりるに其
 殺生荒業成りしに及んれと父母終り大なる事
 一間のし、思ひ奉定りて雀燕の成射落し申度不及。又石成候
 病成りし事なり。思ひ奉定りて雀燕の成射落し申度不及。又石成候
 重太邦は三人の子成候と申す。思ひ奉定りて雀燕の成射落し申度不及。又石成候



徳川氏正徳前編卷五

五



ちちりて丸
父重九郎門
十太郎氏
子討せん
伯父護平
顔
圖

徳川氏正徳前編卷五

四

子成つれ先達の南志也教て忘れりらるも私しきごと幼女にて
 所節固りゆらる結ぶる紐術の勢吉に記してを。又本刀竹刃
 更換り此此不底と更いそふ。不孝に成れ此此よき孝経の中
 能体髪皮肩袂扱ひ中ぐらふは孝なりとわははるまじき今將
 去病云持ちあはるる清免もさうべいと幸よういゆるていつと大
 差へまじき又十たあつた甚どる業色瓜扱じやき痺ははらうら言
 物くまらる我何れ信しよと必まき紐術成習ふ事や怖るく畏
 字字不更とせし言通んとする臆病者兄の十歳とるる我教は
 守りて存るるゆらゆら武藝を不飛を漸く。後々字問中眼は
 文武とも捨む。勸む字字を此此へ追ふ上達なり。夫ふりて又乃
 教不肖く不知存者汝が如く不肖の性有く却て又の操名

